

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 3年 6月23日	作成者名	山崎 康之	評価者名	小野 康平
-----	-------------	------	-------	------	-------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	05 快適で過ごしやすいまち	中心となる課	都市整備部・都市交通課
分野	08 公共交通	関係課	
施策	64 地域公共交通網の充実		
施策の目的	市内外を結ぶ公共交通の利便性を高め、市民の誰もが公共交通機関を利用して、快適に移動できる環境を整えます。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	交通対策事務費
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
tocoバス年間利用人数	市内5路線の年間延べ利用者数	人	297,500	260,000	356,610	362,860	369,598	367,996	248,901
tocoバス年間運行日数	年間の運行日数	日	359	359	359	359	359	360	359
その他施策の取組事項に係る成果									

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	バス路線については、路線バスをコミュニティバスが補完して運行しており、競争を極力排除しながら、利用者のニーズに対応することが求められている。 また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、公共交通機関の利用者数が大きく減少していることから、利用者数の増加策や、新たな交通施策を検討していく必要がある。 JR埼京線については、鉄道利用者の利便性向上のため継続的な要望活動を行っていく必要がある。	対応策	バスについては、市民の移動手段として欠かせないものであることから、コミュニティバスの利便性向上のための見直しを検討していくとともに、路線バスの運行維持のための支援の在り方について検討していく。 また、市民の移動手段の変化等を注視し、シェアサイクルの導入について検討していく。 鉄道については、市民の更なる利便性向上を図るため、埼京線の混雑緩和、終電延長及びホームドアの設置などを、鉄道事業者に対して引き続き要望していく。
----	--	-----	--

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	コミュニティバス利用者は新型コロナウイルス感染拡大の影響から大きく減少し、それに伴う運賃収入の減少分は市の負担増となるが、コミュニティバスの運行は、市民の交通手段を確保するためのものであり、今後も継続して行う必要がある。
B		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	現状のバス交通網を維持するため、新型コロナウイルス関連の補助を検討していく。コミュニティバスについては、利便性向上のため、費用対効果を勘案しながら運行路線等の見直しを検討していく。これらを実施していくため、人員・予算とも維持していく必要がある
→		

(評価者コメント)

新型コロナウイルス感染拡大により、公共交通の利用者は大きく減少しており、既存の交通網を維持していくための施策が必要と考える。また、市民の移動手段の変化に伴い、新たな交通施策について検討していく必要がある。鉄道事業者には、市民の利便性向上のため、継続的に直接要望を行うことが必要である。
--

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 3年 6月23日	作成者名	山崎 康之	評価者名	小野 康平
-----	-------------	------	-------	------	-------

5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果								★事務事業の方向性			R 4 予 算 額	事業費 うち 一般財源		
		事業コード	事業内容	事業区分 R 4 計 画 額	R2決算額		評価結果						事業の方向性	実施計画候補			実施内優先度	コメント
					R3予算額	事業費	事業の方向性	実施計画候補	施策への貢献度	経費水準	事業手法	受益・負担の公平性						
01 交通対策事務費 (都市交通課)																		
	01	交通対策事務費			23,077											路線バスの運行維持に努める。	0	
					25,162	1	○	B	B	B	B	1	○	B				
		01	02	01	12	01	01											
		路線バスへのノンステップバス導入でのバリアフリー化支			24,162													0
		バス導入でのバリアフリー化支			10,040													
02 コミュニティバス運行事業 (都市交通課)																		
	01	コミュニティバス運行事業			103,760											コミュニティバスの安定的な運行を図る。	0	
					115,501	1	○	B	C	B	C	1	○	A				
		01	02	01	12	02	01											
		駅や病院、公共施設等を結び、使いやすく安心して利用で			115,501													0
					6,924													
計 (千円)					事業費	126,837											0	
					うち一般財源	126,837											0	

事業の方向性： 1 現状で継続 2 拡大して継続 3 縮小して継続 4 他事業と統合 5 休止 6 その他見直し
 7 令和4年度で終了 8 令和3年度で終了 9 令和2年度で終了